

米国経済点描（2008. 5. 30）

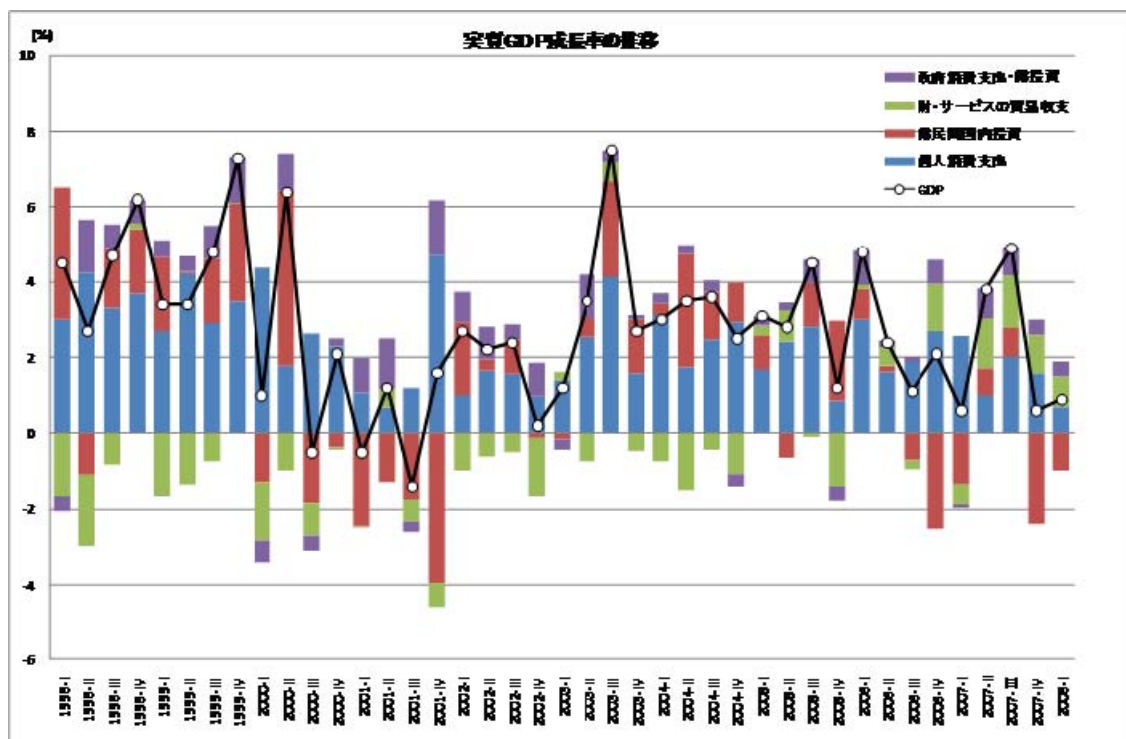
～2008 年第 I 四半期実質 GDP 成長率（暫定値）～

5 月 29 日、米国商務省経済分析局（B E A）が公表した 2008 年第 1 四半期（1 月～3 月）の季節調整済みの実質 GDP 暫定値（preliminary）は、年率換算で 0.9%の成長となり、先月公表した速報値 0.6%より 0.3%ポイントだけ高くなった。

この 0.9%の経済成長に対する寄与度は、民間消費支出が 0.70%、貿易収支が 0.80%、政府消費支出・投資が 0.38%、総民間国内投資が▲0.98%で、住宅とともに GDP の約 7 割をしめる民間消費支出が弱いことが影響している。

速報値よりも暫定値が 0.3%ポイント高くなったのは、速報値よりも輸入が小さくなって貿易収支がプラスに寄与し、これを同様に小さくなった総民間国内投資が一部相殺したためである。なお、民間消費支出、政府消費支出の変更幅は 0.01～0.02%ポイントと小幅で、速報値からほとんど変わっていない。

上記のように、民間国内設備投資が 5 期ぶりのマイナス成長となり、また民間消費支出の停滞が鮮明となったことから、景気回復までには当分時間が掛かると予想される。



○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル 4 F
TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail contact@axis-research.co.jp